

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-81748(P2006-81748A)

【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-013

【出願番号】特願2004-269949(P2004-269949)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球の入球または通過を検出する遊技球検出手段と、

識別情報を表示する識別情報表示手段と、

前記遊技球検出手段で遊技球が検出されたことに基づいて、前記識別情報表示手段に表示する識別情報を抽選する抽選手段と、

前記抽選手段での抽選結果が所定の有利な結果であった場合に、遊技球が入賞可能となる入賞装置と、

を備え、

前記入賞装置は、

遊技球が転動可能な転動面と、

前記入賞装置内に入賞した遊技球が接触し前記転動面での転動に影響を与える影響部材と、

前記転動面を転動した遊技球が入球可能で、遊技球の入球により遊技者にとって有利な遊技状態の発生の契機となる特定入球手段と、

を備え、

前記抽選手段での抽選結果が所定の有利な結果であった場合に、識別情報の最終表示態様に応じて、前記影響部材の動作制御を行う影響部材制御手段

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記入賞装置は、

遊技球を入賞させる入賞口と、

前記入賞口から入賞した遊技球を前記転動面に案内する誘導案内通路と、

前記誘導案内通路の端部に設けられ、遊技球を前記転動面に出力するための開口部とを備え、

前記影響部材は、

前記開口部から前記転動面に出力する遊技球の態様に影響を与える第1影響部材と、

前記転動面上を転動する遊技球が接触しその転動に影響を与える第2影響部材と

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の遊技機において、

前記第 1 影響部材は、遊技球が通過する遊技球通過面の入力側から出力側に向けて上昇するように傾斜されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の遊技機において、

前記第 2 影響部材は、

遊技球が載ることが可能な窪み部と、

前記窪み部に載った遊技球を流下させる流下溝とを備え、

前記流下溝は、前記流下溝から流下された遊技球が前記特定入球手段に入球し易い方向に存在することがある

ことを特徴とする遊技機。